

各地区小学校長様
各地区体育部長・専門委員様

令和8年6月4日
東京都小学校体育連盟理事長 角田 成隆
(足立区立千寿本町小学校長)
同 運動調査部長 森賀 慎一
(杉並区立四宮小学校長)
同 野球部長 清水 晃
(渋谷区立中幡小学校長)

東京都小学校体育連盟 令和8年度 小体連野球大会実施要項

1. 大会運営について

今年度の小体連野球大会は、小体連全体の意向から、生涯スポーツを志向して進めること、教師としての資質を高めること、各地区、教員の親睦を深めることを目的とする。

東京都50区市町村を8ブロックに分け、各ブロックより2地区をブロック代表として選出する。(第1代表、第2代表)選出されたブロック代表16地区による交流試合(各地区1試合)を中央大会とする。

(1) 日程・会場

- 10月17日(土) 杉並区立上井草スポーツセンター野球場 (4面) (ABCD面)
14:40 開会式(グラウンド外)
15:00~16:50 試合(4試合実施)
- 10月24日(土) 杉並区立上井草スポーツセンター野球場 (4面) (ABCD面)
14:40 開会式(グラウンド外)
15:00~16:50 試合(4試合実施)

※2日間とも閉会式は行わない。

令和8年度責任地区

A世田谷 B北 C江戸川 D杉並 E西多摩 F稲城 G武蔵村山 H武蔵野
次年度から責任地区を輪番制とします。

責任地区の主な役割

- ①本部役員からの連絡をブロック専門委員に伝える。
- ②ブロック予選運営の責任者となり、9月末までに代表を決める。

各地区専門委員は、試合結果を責任地区専門委員に報告すること。

(事務局) A~Dブロック担当
国立市立国立第二小学校 主幹教諭 佐藤 幸浩
sato_yukihiko@kunitachi.ed.jp

(事務局) E~Hブロック担当
国立市立国立第八小学校 主任教諭 作道 健志
sakudou_takeshi@kunitachi.ed.jp

2. 確認事項

- (1) 親睦や交流を図る目的から、ブロック予選で、どの地区も2試合は、試合数が確保できるように各ブロックで運営を工夫する。ブロック運営方法を事務局が作成したトーナメント表を参考にして、ブロック予選の運営を責任地区が中心となって決め、9月中にブロック第1代表(中央大会10/17)、第2代表(10/24)を決める。
- (2) 試合は、中央大会は7回戦とするが、球場使用規定による使用可能最終時刻(グラウンド使用可能時間10分前)をもって試合停止、即、終了とする。その時点までに終了したイニングの得点をもって勝敗を決める。同点の場合は引き分けとする。ブロック予選はこの限りではなく、両チームの話し合いも可とする。
※ブロック予選は、試合の前に、最終時刻や引き分けの場合どうするか事前に決めておく。
- (3) 中央大会の組み合わせは、専門委員会で抽選する。

- (4) 代表となった地区は中央大会に必ず参加すること。
責任地区はブロック予選が始まる前にこの事をブロック内全地区に確認すること。(以前、不参加の地区があり、対戦相手に迷惑をかけることがあったため。)
- (5) 出場資格
各大会参加資格は、加盟小学校の教職員で、会計年度任用職員、講師、休職、病欠、産休、育休、区市町村費職員でないものとする。(東京都小学校体育連盟規約第4項)
※但し、当分の間、特例として理事長が認める者を加えることとする。
※出場する選手は、必ず所属長の許可を得るようお願いいたします。
※違反した場合は、成績・記録を取り消し、次年度の該当種目の出場権を失う。
※1地区1チームを原則とする。
※出場資格についてご不明の点は、都小体連運動調査部長 杉並区立四宮小学校長 森賀 慎一(学校電話03-3390-3147)までお問い合わせください。
- (6) 使用球 「M号球」
- (7) 審判
ブロック予選については、ブロック内で話し合う(相互審、主審のみも可)中央大会の主審は公式審判員を本部で用意する。墨審については相互審とする。
・ブロック予選については、従来通り、他地区が主審を行うでもよいし、対戦地区同士で主審を出すなどの相互審でもよい。ブロック内で審判の方法を決める。
- (8) 記録の報告
ブロック代表の2地区が決まったら各ブロックの責任地区が事務局にメールにて報告をする。
- (9) 中央大会に出場の決まった地区は、地区名・学校名・名前・当日の連絡先を記載して事務局宛てにメールをする。
- (10) その他
○各大会の参加は、研修にも職免にもあたらないので、大会開催は勤務時間外に設定すること(平日ナイター、土曜・日曜・休日等)
○小体連の試合中の事故については、公務災害の対象にならない。よって、地区ごとの団体保険でも個人保険でもよいのでスポーツ保険に加盟しておくこと。専門委員は事前に参加する全員が保険に加入されているかを確認し、中央大会ではスポーツ保険に加入していることを事務局に報告をする。
○試合中、試合後における教員として、スポーツ選手としてのマナーを徹底して守ること。抗議は監督を通して行うこと。
○安全のため、予選から選手は必ず帽子を着用し、打者はヘルメットを着用すること。また、捕手は防具を着用し、ランナーもヘルメットをかぶること。
○中央大会では、捕手は必ず面、キャッチャーヘルメット、レガース、プロテクター、を着用すること。打者、走者、コーチャーは必ずヘルメットを着用すること。
※用具を揃えることができない等の場合は、事前に事務局に相談をする。
○ブロック予選から出場選手は背番号をつけ、メンバー表に記入し、必ず審判、相手チームに提出する。
※中央大会は、メンバー表がない場合は、事務局から支給する。
※メンバー表に記載されていない選手は試合に出られないので、記載漏れがないよう注意すること。
○中央大会が雨天中止となった場合、延期はしない。ただし、当該地区同士で話し合いの上、別日に会場を用意し、試合をすることは可とする。(会場、主審は本部では用意しない)
○各地区の専門委員は、参加する全員に実施要項の内容の周知を行う。